

浦崎太郎先生によるオンライン講演会・探究面談

AKB Future Project 推進委員会

○日程 2021年6月5日（土）
○対象 4回生5回生有志生徒

年度当初はリアルでのワークショップ実施を計画していましたが、新型コロナウイルス流行の状況が芳しくないことから、残念なことに浦崎先生をお招きすることができなくなってしまいました。急な予定変更となってしまいましたが、浦崎先生のご厚意によりオンラインでの実施が実現しました。浦崎太郎先生は、前任の岐阜県立可児高等学校で地域協働に携わりました。地域の教育資源を活用する実践は画期的な試みであり、現在の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」のモデルケースとなりました。

〈内容〉

9:30 オープニング、基調講演（浦崎先生）

10:00 探究面談 30分×3

11:30 クロージング

〈参加者〉

浦崎太郎先生（大正大学地域創生学部教授）

生徒10名（6回生4、5回生4、4回生2）

卒業生2名（北海道教育大学函館校1年、東京学芸大学1年）

太田稔教諭

1 基調講演（浦崎太郎先生）



浦崎太郎先生より、全国の先進事例が紹介されました。また、従来の「進学校」でなされてきた大学入試偏重の教育が大学でのドロップアウトを招く一因となっていること、その改善のために「総合的な探究の時間」が導入されたこと、高校での探究活動の経験が大学での学びに大きく影

響することなどが主な内容です。

2 探究面談

基調講演で地域協働や課題探究の意義を理解したあとは、浦崎先生との探究面談です。参加者を3つのグループに分け、それぞれのグループを浦崎先生に巡回していただきました。

浦崎先生とお話できる時間は各グループ30分。浦崎先生がいらっしゃらない時間帯は、各自の探究の内容や進捗状況について情報を共有し、浦崎先生への質問をまとめたり、浦崎先生との面談を振り返ったりするグループワークを行いました。各グループの司会進行は上級生が務め、卒業生にはサポート役をお願いしました。

オンラインで制約が多い中でしたが充実した活動が展開されたようです。クロージングの際には、浦崎先生より「大学3年生と話すような内容でした」という嬉しいコメントをいただきました。

〈実施後のアンケートより〉

○先輩方や浦崎先生と進路のことから探究のことまで様々なお話ができて、とても楽しかった。モチベーションの維持につながった。大人の人や学校外の人と関わる機会を大切にしていきたい。

○初めは、「講演会」と聞いて、自分の意見をしっかり言えるかどうか不安でしたが、参加してみて、とても楽しかったです。特に、普段お話しする機会のない大学の教授の方に進路のことや探究についてアドバイスを頂き、自分の今できること、そして、将来やりたいことなど改めて考えるきっかけになりました。もっと、自分について深く知り、色々な方からアドバイスをいただける機会があれば是非また参加したいです。

○自分は何者なのか探りながら、今の自分にできる範囲で「問い」を解決することの大切さ。

（記録：太田）